

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		多機能型事業所 ハレルヤハウス			公表日		2026年 2月 16日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	12	0	増築したことで更にスペースが広がり、利用人数や子どもの状態に合わせて、支援室内を仕切って使用することができる。	室内が広がったことで、死角になることがあるため、職員の配置に気をつけている。		
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	12	0	個別対応ができるように基準配置数よりも多い配置数にしている。	実際には満たされているが、送迎時や長期休暇時に不足となることがあるため、その際には安全を優先している。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	12	0	・玄関にはスロープがあり、室内はすべてバリアフリー化されている。 ・ロッカーには顔写真付き名札、活動の順番を掲示している。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	12	0	掃除は毎日行っている。おやつ前後の机拭きやおやつ後の掃き掃除も行っている。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	12	0	宿題や課題、クールダウン、着替えなどで個室の利用ができています。個室を使用したい子どもが重なったときに別の場所を提供することもできています。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	12	0	正規職員は職員会議や毎日の朝礼時に参画できている。パート職員は回覧で確認してもらっている。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	0	1年に1回、評価表への取り組みを行ってもらい、意向等を把握し、職員会議で話し合っている。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	0	毎月の職員会議や毎日の朝礼時、また、必要に応じて話し合う機会を設けている。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	12	保護者や職員の意見を最優先している。また、県による指導（運営や監査）を受けている。	第三者による外部評価を受ける必要性を検討していく。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	12	0	研修を受講したり、“発達障害グレーゾーン”の子がグーンと伸びた声かけ・接し方大全の本を読み合って学んでいる。	職員それぞれの経験年数にあった研修を受講できるようにしていきたい。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	12	0	令和7年2月21日に公表している。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	12	0	保護者面談を年に2回実施している。	子どもとの面談やアセスメントをもっとしっかりと行っていく。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	12	0	日々の話し合いや、個別支援会議で職員の意見を聞き、支援目標や支援内容を検討し、決定するようにしている。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	12	0	共有しやすいように個別支援計画書のファイルを準備している。毎朝、個々の計画書を確認しながらその日の支援内容を考えている。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	12	0	支援提供記録（インフォーマル）、アセスメントシート（フォーマル）を使用している。	インフォーマルなアセスメントに力を入れていきたい。		

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10	2	本人支援は5領域に分けて計画を立てている。家族支援は行っているが、計画書に記載していなかったため、更新時に記載するようにしている。	「移行支援」、「地域支援・地域連携」についても必要に応じて記載していく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	12	0	職員間で話し合うことができています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	12	0	同じ内容を繰り返す方がいい子どもは固定しているが、そうではない子どもは前回の内容を確認して固定化しないようにしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	12	0	課題に取り組む（個別活動）、他者との関わり（集団活動）を取り入れ、無理なく支援している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	12	0	朝礼時に前日の振り返りを行い、その日の支援内容は個別支援計画書を確認しながら行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか。	8	4	送迎から戻るタイミングの違いから当日に振り返ることができないため、翌朝必ず行っている。重要な内容の報告は個人的に受けている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	12	0	個別支援会議時や会議前に記録を読み直している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	12	0	誕生月とその半年後にモニタリングを実施して見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	12	0	地域交流の活動（外食や買い物体験）もできている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	12	0	活動の順番や内容の選択ができるようにしている。	自己選択、決定のために無理強いすることなく関わっていくことを全職員で共有する。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	12	0	基本的に児童発達支援管理責任者が参画している。	可能であれば、子どもの状況をよく理解している職員にも一緒に参加してもらいたい。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	12	0	必要に応じて医療機関との連携は取っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	12	0	HPやマチコミメールなどで確認をしたり、学校へのお迎え時にその日の様子や最近の様子の情報共有を行ったりしている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	12	0	相談員や保護者からの情報で十分わかる。	必要を感じたら情報提供の依頼をする。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	12	0	相談員や保護者にのみ、十分な情報を提供して、移行先に共有してもらっている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	12	連携は取っているが、助言や研修は受けていない。	研修の案内を見たことがない。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	12	0	教会で開催されるイベントの案内を配布している。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	12	協議会からの案内を見たことがない。	協議会からの案内があれば参加してみたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12	0	送迎時や面談、電話やプラスメッセージを活用して伝え合っている。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	12	0	スーパーアドバイザーを招いた茶話会の提供やペアレントトレーニングの案内をしている。		

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	12	0	契約時にそれぞれの説明を行っている。支援プログラムはホームページに掲載している。	支援プログラムについての説明が不十分であるため、周知していく。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	12	0	契約時に保護者の意向を聞いたり、面談やアセスメント時にも聞いたりしている。	子ども本人の意向を確認していきたい。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	12	0	面談時や送迎時に説明を行い、同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	12	0	わかる範囲での助言を行っている。わからないことは時間をもらって対応している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0	12	茶話会の実施はしている。きょうだい同士で交流する機会は設けていない。	ニーズがあれば検討していきたい。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	12	0	契約時に重要事項説明書にて相談・苦情の窓口についての説明を行っている。苦情や意見があった際には迅速に対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	12	0	長期休暇前に予定を配布している。	写真やInstagramが不定期のため、頻度を多くできるように検討する。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	12	0	・個人情報に記載されている書類はすべて鍵付きの書庫で保管している。 ・廃棄書類はシュレッダーを使用している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	12	0	写真やイラスト、文字を使用した視覚支援の提供を行っている。	
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	12	地域の方を招待する行事は実施していない。		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	12	0	各マニュアルの策定や訓練の実施はできている。	利用申込書に記載するなどして、訓練の実施日を事前に伝えていく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	12	0	年4回の計画で地震、火災、防犯訓練を実施している。また、保護者向けには災害時の伝言ダイヤルの提供を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	12	0	てんかん発作や服薬については契約時に必ず確認を行っている。また、服薬は変更がある際に必ず教えてもらっている。てんかん発作についても情報共有してもらっている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	12	0	食物アレルギーも契約時に確認を行っている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	12	0	遊具（ブランコやハンモック）の定期的な点検を行っている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	12	0	非常時の対応については契約時に説明を行っている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	12	0	毎日の振り返りの中でヒヤリハットや事故の有無を確認している。ヒヤリハットの書類を書くことで内容の確認、再発防止に向けて取り組んでいる。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	12	0	年1回、研修会（事業所内）を実施している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	12	0	現在、身体拘束が必要な子どもはいない。		